

7割弱の人が無料ネット動画を視聴、有料ネット動画を牽引するのは20代

～インターネット動画の可能性について考える～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

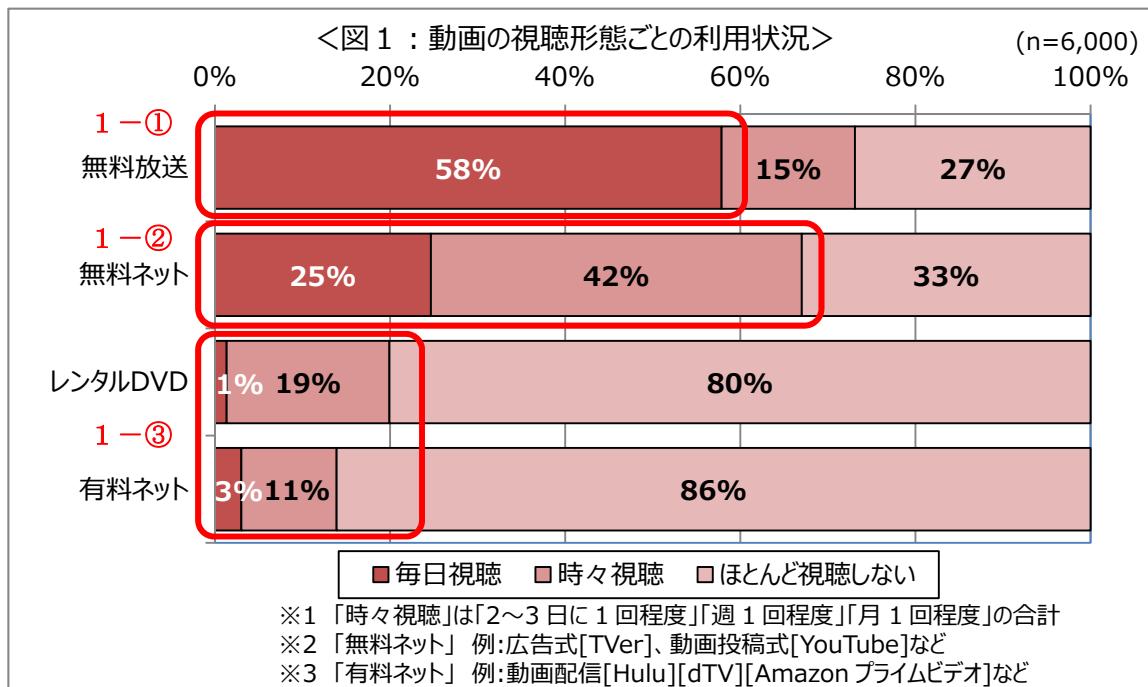
■ 調査結果

<1：無料ネット動画は67%、有料ネット動画は14%の人が視聴>

スマートフォンに代表されるICTデバイスの多機能化や高機能化、無線ネットワークの高速化、あるいはWi-Fiスポットの増加など、インターネットと動画を取り巻く環境は充実しつつある。そこでモバイル社会研究所では動画視聴の実態について、その形態（後述）に着目しつつ調査した。第一弾として視聴形態ごとの利用状況など、基本的なデータについて紹介する。

今回の調査では視聴の形態を（1）地上波など無料で視聴する「無料放送」、（2）インターネットを通じ無料で視聴する「無料ネット」、（3）実店舗に赴き有料でレンタルする「レンタルDVD」、（4）インターネットを通じ有料で視聴する「有料ネット」の4つのカテゴリに分類した。その結果は図1のとおりである。

まず「無料放送」は「毎日視聴」している人が過半数に上り、他の3形態に比較し著しく視聴の頻度が高い（1-①）。但し「無料ネット」も「毎日視聴」と「時々視聴」を合算すると67%となり、「無料放送」の73%に迫る勢いであった（1-②）。また、「有料ネット」については「毎日視聴」している人は3%とまだ少ない一方、「毎日視聴」と「時々視聴」を合算すると14%となり、「レンタルDVD」のそれに近づく規模となった（1-③）。インターネットを介した動画の視聴について、今後の可能性を感じる結果であった。



<2：有料ネット動画は20代が牽引>

次に動画が「無料放送」「無料ネット」「レンタルDVD」「有料ネット」のどのような組み合わせで視聴されているのか、年代別に視聴者を分析した。結果は図2のとおりである。

